

令和2年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈一枚写真〉部門

〈 特 選 〉



- ① たすきでつなぐ駅伝“愛”
- ② 広報きりしま（2月号）・10～11ページ
- ③ 霧島市 秘書広報課

○ 講評

- ・暗がりを背景に半身に光が当たる構図で、地道に努力を重ねていることをうかがわせる。
- ・夕闇の中でライトに照らされての練習。黒いバックの中に、ライトで浮き上がるランナーの迫力が出ている。
- ・駅伝大会を前に練習に励む出場選手を正面からアップで写し、力走する姿がよく出ている。
- ・競技場の照明をうまく使った。足が地に着く直前のショットで躍動感が出ている
- ・見開きいっぱいの掲載でスポーツ写真の醍醐味が表現された。
- ・広めの暗がり部分をうまく使い、文章を載せている。

〈 入 選 〉

- ① 命を守る
- ② 広報きんこう（8月号）・表紙
- ③ 錦江町 政策企画課

○ 講評

- ・救急隊員の表情から緊迫した雰囲気を感じる。
- ・豪雨災害の被災地で活躍する救助隊員。緊迫した様子が伝わる。繰り返す災害の警告になる写真。
- ・災害時ならではの緊迫した表情は、避難の大切さを考えさせる。
- ・災害現場に駆けつけて撮影を行い、緊張感で災害の危機を見せた。
- ・空の白、がれきの土色、そしてレスキューのオレンジ色が鮮やかで効果的な構図となっている。
- ・がれきの部分にうまく文字を配置した。

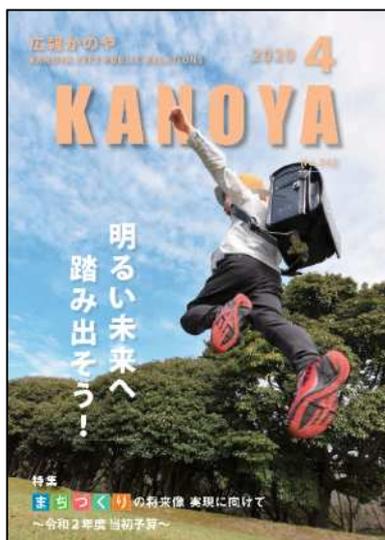


令和2年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈一枚写真〉部門

〈 入 選 〉



- ① 明るい未来へ踏み出そう
- ② 広報かのや（4月号）・表紙
- ③ 鹿屋市 政策推進課

○講評

- ・背景の広がり未来を表し、飛び上がる子どもの躍動感がいい。
- ・明るい未来へ向かってジャンプする子ども。大きく元気に育ってほしいと願いをこめた表紙だろう。
- ・広角レンズを使って、子どもを大きく、背景を広く引き出した。
- ・余白をうまく使って、すっきりしている。
- ・後方の木立が目立ちすぎた。大空を大きく入れたほうが良かった。
- ・子どもの横顔が見えたほうがインパクトがあった。

〈 入 選 〉

- ① いつもの街をちょっと楽しくする服^{つむぎ}
- ② かごしま市民のひろば（11月号）・表紙
- ③ 鹿児島市 広報課

○講評

- ・大島紬姿の二人が紙面を華やかにしている。鹿児島らしさが出た表紙となっている。
- ・題字や文字を入れる位置を意識して、構図を工夫しているのが分かる。
- ・奥行をうまく出した。路面と左の人物の着物が同系色で埋没したのが残念。
- ・遠近法を意識した構図はいいが、雑然とした背景が気になる。
- ・雑多なところを撮影場所を選んだとのことだが、背景が電柱や電線でゴタゴタしすぎた。着物姿は美しい場所が似合う。
- ・人物の華やかさに比べて背景が良くなかった。いい表紙なので撮影場所を選んでほしい。

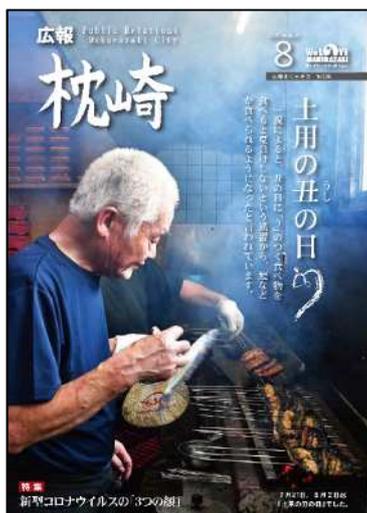


令和2年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈一枚写真〉部門

〈 入 選 〉



- ① 土用の丑の日
- ② 広報まくらざき（8月号）・表紙
- ③ 枕崎市 総務課

○講評

- ・煙で背景がぼけて人物を引き立たせた。団扇のブレ具合が動きをうまく表している
- ・煙が立ち込めるうなぎ屋の調理場。炭火で焼くうなぎの美味しさが伝わる。
- ・立ち込める煙の中、人物とうなぎを鮮明に写している。
- ・かば焼きの現物、人物、題字のうなぎが合わさり、いい表紙になっている。
- ・奥の人物が腕から先だけ映っていて一瞬ギョッとした。
- ・人物の上に余計な文字がなくていい。ただ、「一説に…」以下の一文はいらないのでは。

〈 入 選 〉

- ① 特別定額給付金の訪問支給
- ② 広報 やまと（5月号）・表紙
- ③ 大和村 企画観光課

○講評

- ・受け取る住民の表情が秀逸。役場職員との日ごろの信頼関係がうかがえる。
- ・役場職員から給付を受けるお年寄りの表情がいかにも嬉しそうだ。
- ・いい瞬間をとらえた。傍らに置かれたマスクがコロナ禍を表している。
- ・縁側で給付金を受けるお年寄りのそばにはずした白いマスク。コロナ禍を象徴する写真となった。
- ・村の行政として村民に喜ばれる対策の写真だった。
- ・文字が写真の邪魔をしていないのがいい。



令和2年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈組み写真〉部門

〈 特 選 〉



- ① 窯に入れるのは遊び心と熱意
- ② 広報きりしま（9月号）・
14～15ページ
- ③ 霧島市 秘書広報課

○講評

- ・人物の表情写真を思い切って大きく扱い、読者の目を引きつける。
- ・メインの出来上がった作品を満足に見つめる姿が目を引き。作品をつくる場所、色づけ用の絵の具、作品、陶芸の作業工程が分かる。
- ・色々なアングルの写真を効果的につなげ、アクセントになっている。
- ・各一枚一枚がうまく撮影されていて、組み写真の良さが出た。
- ・レイアウト・キャプションが、すっきりとして読みやすい。
- ・陶芸に関心を呼ぶ紙面。文章を少し短くして右方の写真をもう少し大きく掲載してもよかった。

〈 入 選 〉



- ① 感動をありがとう。
- ② 広報さつま（4月号）・
2～3ページ
- ③ さつま町 企画政策課

○講評

- ・ひた向きにボールに向かう、いい表情をとらえている。
- ・立ち位置を変えるなど、躍動感のある構図に努力の跡がうかがえる。
- ・写真にメリハリが利いている。
- ・試合場に行き、ラグビーの熱戦を現場で撮影し、迫力ある写真となった。
- ・多くのラグビー競技が開催される同地区。選手たちの活躍がラグビー競技の魅力を見せている。
- ・ラグビー競技場のある町として町民とともに支援してほしい。